

# Atezo

アテゾリズマブ 1200mg/body 点滴静注 (Day1)  
3週間毎

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day8	Day15
アテゾリズマブ	DIV	1200mg/body	↓		

★アテゾリズマブは免疫チェックポイント阻害剤のため、irAEの出現に注意。

## CBDCA+S-1

カルボプラチン	AUC=5	点滴静注 (Day1)
S-1	80mg~120mg/body/日	経口投与 (Day1夕~Day15朝)
3週間毎		

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day8	Day15
カルボプラチン	DIV	AUC=5	↓		
S-1	PO	80mg~120mg/body/日	→	→	

カルボプラチン投与量(mg) = AUC (mg/mL・min) × (GFR (mL/min) + 25)

★カルボプラチンの投与量については、上記カルバートの式を使用し算出

# CDDP+PEM+BEV

シスプラチン	75mg/m <sup>2</sup>	点滴静注 (Day1)
ペメトレキセド	500mg/m <sup>2</sup>	点滴静注 (Day1)
ベバシズマブ	15mg/kg	点滴静注 (Day1)
3週間毎	4～6コース後は維持へ	

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day8	Day15
シスプラチン	DIV	75mg/m <sup>2</sup>	↓		
ペメトレキセド	DIV	500mg/m <sup>2</sup>	↓		
ベバシズマブ	DIV	15mg/kg	↓		

- ★投与の1週間前から葉酸（1日1回0.5mg経口）とVB12（9週に1回1mgを筋注）の投与を開始する
- ★シスプラチン投与のため、腎機能障害予防に水分負荷・Mg製剤の投与など必要
- ★ベバシズマブは血管新生阻害剤のため、出血・創傷治癒遅延・血栓・蛋白尿など注意。

# GEM+CDDP

ゲムシタビン	1000mg/m <sup>2</sup>	点滴静注 (Day1、8)
シスプラチン	40mg/m <sup>2</sup>	点滴静注 (Day1、8)
3週間毎		

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day8	Day15
ゲムシタビン	DIV	1000mg/m <sup>2</sup>	↓	↓	
シスプラチン	DIV	40mg/m <sup>2</sup>	↓	↓	

★胸部への放射線療法・間質性肺炎・肺線維症がある患者には禁忌。

★シスプラチン投与のため、腎機能障害予防に水分負荷・Mg製剤の投与など必要

# GEM+CDDP

ゲムシタビン	1000mg/m <sup>2</sup>	点滴静注 (Day1、8)
シスプラチン	80mg/m <sup>2</sup>	点滴静注 (Day1)
3週間毎		

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day8	Day15
ゲムシタビン	DIV	1000mg/m <sup>2</sup>	↓	↓	
シスプラチン	DIV	80mg/m <sup>2</sup>	↓		

★シスプラチン投与のため、腎機能障害予防に水分負荷・Mg製剤の投与など必要。

★胸部への放射線療法・間質性肺炎・肺線維症がある患者には禁忌。

# PEM

ペメトレキセド 500mg/m<sup>2</sup> 点滴静注 (Day1)  
3週間毎

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day8	Day15
ペメトレキセド	DIV	500mg/m <sup>2</sup>	↓		

★投与の1週間前から葉酸（1日1回0.5mg 経口）と VB12（9週に1回1mg を筋注）の投与を開始する

## Pembro (3週毎)

ペムブロリズマブ	200mg/body	点滴静注 (Day1)
3週間毎		

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day8	Day15
ペムブロリズマブ	DIV	200mg/body	↓		

★ペムブロリズマブは免疫チェックポイント阻害剤のため、irAEの出現に注意。

## Pembro (6週毎)

ペムブロリズマブ 400mg/body 点滴静注 (Day1)  
6週間毎

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day8	Day15	Day22	Day29	Day36
ペムブロリズマブ	DIV	400mg/body	↓					

★ペムブロリズマブは免疫チェックポイント阻害剤のため、irAEの出現に注意。

## RAM+DTX

ラムシルマブ	10mg/kg	点滴静注 (Day1)
ドセタキセル	60mg/m <sup>2</sup>	点滴静注 (Day1)
3週間毎		

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day8	Day15
ラムシルマブ	DIV	10mg/kg	↓		
ドセタキセル	DIV	60mg/m <sup>2</sup>	↓		

★ドセタキセルによる浮腫・手足症候群などに注意

★ラムシルマブは血管新生阻害剤のため、出血・創傷治癒遅延・血栓・蛋白尿など注意。

## RAM+Erlotinib

ラムシルマブ	10mg/kg	点滴静注 (Day1)
エルロチニブ	150mg/body	経口投与 (Day1~14)
2週間毎		

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day8	Day15	Day22
ラムシルマブ	DIV	10mg/kg	↓		↓	
エルロチニブ	PO	150mg/body	→	→	→	→

★ラムシルマブは血管新生阻害剤のため、出血・創傷治癒遅延・血栓・蛋白尿など注意。

★エルロチニブは空腹時内服、また間質性肺炎の出現に注意。

## weekly nab-PTX

パクリタキセル（アルブミン懸濁型） 100mg/m<sup>2</sup> 点滴静注（Day1、8、15）  
3週間毎（休薬なし）

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day8	Day15
パクリタキセル（アルブミン懸濁型）	DIV	100mg/m <sup>2</sup>	↓	↓	↓

- ★ 血液製剤（アルブミン製剤）であることに注意  
2022年4月現在納品難しい状況が続いている